日旅連12支部連合会長に聞く、2025年度の重点取り組み

関西支部連合会

万博のチャンス生かす

金子博美会長

平素より、関西支部連合会の活動に対しまして、日本旅行社員の皆さま、会員の皆さまにおかれましては、多大なるご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。深く感謝申し上げます。

まずもって、昨年の元日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々、被害にあわれた方々へ、謹んでお悔やみ申し上げます。また、度重なる天候不順や、酷暑に見舞われ、8月には南海トラフ地震臨時情報による閉鎖措置が発令されたエリアもあり、災害に対する危機感が高まりました。ご対応いただいた皆さまに、お見舞い申し上げます。

世界に目を向けると、ウクライナ、パレスチナは落ち着く様相を見せず、今年の新年早々ロサンゼルスでは、森林火災が発生致しました。一日も早く人々の日常生活を取り戻されますようお祈り申し上げます。

さて、日本旅行におかれましては、創業120周年、おめでとうございます。今年の本部総会は、日本旅行創業の地、滋賀県にあります私ども、琵琶湖グランドホテル・京近江で開催いただきますこと、心より御礼申し上げます。

昨年11月には日本旅行の事業で、欧州（フランス）で行われた商談会に参加致しました。宿泊施設では、脱プラスティックや、飲料水の補充などに創意工夫をされておられました。サービス業の地位の高いことを改めて見聞きし、非常に勉強になりました。

スポーツ界では、MLBの大谷選手や山本選手の大活躍、バスケットの八村選手や河村選手、サッカー代表のほとんどの選手が欧米で活躍され、女子ゴルフの若い選手がアメリカで挑戦する姿や、パリオリンピックでの日本選手の活躍は、素晴らしく明るく前向きになれるニュースでした。今年もさらなる活躍を期待しています。

このような追い風を旅行業、観光業にもつなげていきたいと思います。インバウンドも一部の地域にとどまらず、広域に誘導できるような連携をしていくことが肝要です。

また、今年4月からは待ちに待った大阪・関西万博が開催されます。併せて全国発JR大阪デスティネーションキャンペーンが展開され、京都・大阪・神戸を中心に新しいホテルが建ち、うめきたエリアのインフラ整備の工事は着々と進んでいます。昨年、北陸新幹線が敦賀まで延伸され、新しい需要創造のできる機会が増えています。大阪の前後泊を関西の他のエリアに泊まっていただくような施策や商品を日本旅行とともに開発し発信していきます。

連合会では昨年、連合会主催の商談会を開催場所やターゲットを変えて継続して開催し、提携販売への施策、人材不足に対する情報提供など新しい取り組みを継続して行いました。今年も事業を継続し、浸透させることが大切だと考えております。日本旅行社員とのセッションを増やす計画や人材確保の機会を増やす計画をしています。

日本旅行、日旅連会員の皆さま、さらに前向きに、将来に向けて持続可能な事業を行い、お互いが高められるよう取り組んでまいりましょう。

中国支部連合会

地域連携をさらに強化

宮川和也会長

平素より日本旅行協定旅館ホテル連盟中国支部連合会の活動に対して日本旅行グループの社員各位の皆さま、日旅連の会員の皆さまにおかれましては多大なるご支援ご指導を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2024年は、観光業界にとって大きな回復と変革の年となりました。コロナ禍からの復興を果たし、国内外の観光客が戻りつつある中、各地で新たな観光施策やイベントが相次いで展開されました。

特に、インバウンド観光の回復が顕著で、円安が追い風となり2024年の訪日外国人の数は3千万人を上回り、文化体験や食の魅力が高く評価され、観光地の多様化が進んでいます。

また、地域ごとの取り組みも活発化しました。

山口県の観光トピックスと致しましては、昨年1月4日にニューヨークタイムズ記事で、2024年に行くべき52カ所のうち3番目に選出されました。2025年1月～2月には、インバウンド誘致と致しまして山口宇部空港と韓国のインチョン国際空港を結ぶ国際便の運航がございます。

また、2026年秋、山口県でデスティネーションキャンペーン開催が決定し、プレDCとしての観光キャンペーンが今年の10月～12月に実施されます。

広島県・岡山県の観光トピックスと致しましては、今年の4月から開かれる大阪・関西万博では350万人の訪日が見込まれますが、インバウンド客を取り込むため連携して観光客の誘致を図ろうという官民組織「西のゴールデンルートアライアンス」が岡山、広島を含む西日本の17の自治体や民間団体、企業で構成し、訪日客を呼び込むプロモーションや旅行商品の企画に協力して取り組みます。

当連合会の事業では、宿泊券拡大事業として、1月4年10月からスタートしたJR西日本「tabiwaトラベル」への連携強化も伺っていますので、拡大営業推進委員会を中心に地域連携のさらなる強化に取り組んでまいります。

さまざまな取り組みで今まで以上に株式会社日本旅行様と連携し、貢献できるように会員一同努めてまいりますので、日本旅行グループ並びに、日旅連会員の皆さま方の一層のご協力をよろしくお願い致します。

九州支部連合会

新たな市場獲得を継続

伊藤博太会長

平素は日旅連九州支部連合会の活動につきまして、日本旅行グループの皆さまは並びに会員の皆さまには多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年が最終年度となります日本旅行中期経営計画にリンクさせ日本旅行各部門、Nic九州と連携して旅連活動の目的である「会員施設の宿泊顧客拡大」に向けて事業を推進します。

従来型の施設情報や観光素材の情報発信に加え、SDGsやサステナブル・ツーリズムをはじめ社会が求めるテーマに沿った着地型企画商品（FIT・GT）造成へ協力し、新しい市場獲得への取り組みを継続してまいります。

その上で、2025年度における事業活動に関しては―。

・日本旅行創業120周年記念の取り組みとして、九州（福岡・大分）アフターDCキャンペーン実施、九州温泉プレゼントキャンペーン、高付加価値商品の事業拡大に協力してまいります。

・JR「EXサービス」について昨年にスタートしたJR東海、JR西日本、JR九州各社の「EXサービス」のプラットフォームを活用した「EX旅パック」「EX旅先予約」の利用は順調に推移しており「EX旅パック」は日旅連会員にも販路拡大効果をもたらしており引き続き商品への参加を推進します。

・JR西日本「tabiwaトラベル事業」への協力は日旅連への誘客チャンスと捉えて、積極的に協力してまいります。

・教育旅行、法人旅行等各種団体旅行誘致拡大のため「九州セブン&アイランド」を活用した団体送客キャンペーンへの協力を引き続き行います。

・日旅連本部主催の各地区ワークショップに積極的に参加してまいります。また、重点発地エリアに向けて「2025年九州観光誘客宣伝隊」を九州全支部合同で実施します。

・訪日観光客は急速に回復傾向でありますので日本旅行のインバウンド事業（日本の観光物産博・台湾、ジャパンウィーク2025・英国マンチェスター市）に連動して、拡大に向けた取り組みに対して継続して協力してまいります。

・大阪・関西万博をフックとしたインバウンド需要拡大に向けた「RedBalloon」の強化を図り広域な地域分散へとつなげていく取り組みを推進します。

以上が事業計画の中心であります。本年度も日本旅行グループ並びに日旅連会員の皆さま方の一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

沖縄支部連合会

節目の年、さらに成長を

親盛一功会長

平素は、日旅連沖縄支部連合会の活動に対し、皆さまから多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

2024年はコロナ前の様子を取り戻すようになったものの、前年までの全国旅行支援の反動や修学旅行の減少もあり、全般的には厳しい年となりました。

また、沖縄観光入域者数は、966万人（前年比17%増）を見込んでおり、人泊数および観光消費額も増加傾向にあります。

さて、2025年は「沖縄国際海洋博覧会」から50年、2000年のサミット開催から25年と、大きな節目の年であるとともに、新たなテーマパーク「ジャングリア」が沖縄本島北部に7月25日に開業され、外国人観光客も段階的に回復してきていることもあり、観光業界はコロナ禍からの回復からさらに成長・進化する年になると思われます。

また、課題もあります。観光需要回復に向かう一方で、観光業の深刻な人手不足や、ジャングリア開業による道路などの周辺インフラは脆弱（ぜいじゃく）な状態であり、渋滞、オーバーツーリズム対応などの懸念も指摘されています。官民連携した解決の取り組みが早急に必要と考えます。

3月には、株式会社日本旅行様の優良箇所および社員の皆さまを表彰する「日本旅行×TABLE FOR TWO」のインセンティブ企画も実施しました。

ツーリズム事業部門においては、商品造成と仕入部門の一体化運営による着地誘客の拡充。「赤い風船」商品を中心にインターネット商品のさらなる強化。高付加価値商品、サスティナブルツアーにも力を注ぎ販売成果貢献に努めます。

昨年はインバウンド向け商品「RedBalloon」の勉強会を日旅連会員向けに開催し、インバウンドのさらなる強化に取り組みました。

さまざまな取り組みで今まで以上に株式会社日本旅行様と連携し貢献できるように会員一同鋭意努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

四国支部連合会

万博から「プラスワン」

漆原康博会長

平素より日本旅行協定旅館ホテル連盟四国支部連合会の活動に対しまして日本旅行グループの社員各位の皆さま、会員の皆さまにおかれましては多大なるご支援・ご協力賜り、心よりお礼申し上げます。

2024年度は四国各県の4空港に東アジアからの直行便の就航により訪日外国人観光客の需要の拡大はあったものの、夏の繁忙期に発生しました南海トラフ地震情報発令や相次ぐ台風の接近、豪雨、酷暑といった自然災害によって、個人需要の取り消しが相次いだ年となりました。

2025年度につきましては、大阪・関西万博が4月から開幕に当たり、海外から来られる訪日外国人観光客に四国をPRできる絶好のチャンスだと考えております。

四国には豊かな自然、美しい海岸線、そして歴史的な寺社仏閣が魅力の地であり、今後も海外のお客さまに四国の魅力を伝えていくことが重要です。世界的に有名な「四国八十八ヶ所巡礼」や、日本最古の温泉道後温泉や、日本三大秘境の一つとされる祖谷渓、大歩危・小歩危の渓谷美、瀬戸内の穏やかな海とアートが融合した直島や豊島など、多彩な観光資源を有しています。また、鳴門の渦潮や讃岐うどん、かつおのたたき、鯛めしなど、各地の食文化も観光の大きな魅力です。

また、香川県では3年ごとに開催する「瀬戸内国際芸術祭2025」、高松に最大1万人収容できる「あなぶきアリーナ香川」のオープン、徳島県では大阪・関西万博への出展、高知県ではNHK朝の連続ドラマ小説「あんぱん」の放映、愛媛県では「道後温泉本館全面再開1周年」、スポーツマスターズ大会が開催されます。

また観光と地域振興を両立させる施策が重要となります。四国の観光業界全体が一丸となり、新たな魅力を発信しながら訪れる方々に「また来たい」と思っていただける四国の観光づくりに取り組んでまいります。

大阪・関西万博からプラスワンの旅を国内外の皆さまに誘致できるように努めてまいりたいと思います。

日本旅行協定旅館ホテル連盟四国支部連合会が四国観光のさらなる発展に尽力してまいる所存です。皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、引き続きお願い申し上げます。

山梨県石和温泉郷のリゾート旅館
華やぎの章 慶山
〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部 822
TEL：055-262-2161　FAX：055-262-4162
URL：https://keizan.com/

一茶のこみち 美湯の宿
〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町湯田中温泉
https://yudanakaview.co.jp / TEL:0269-33-4126

世界遺産
「明治日本の産業革命遺産」

萩城下町
松下村塾
恵美須ヶ鼻造船所跡
萩反射炉

毛利三六万石の城下町、長州・萩。
萩城からほど近い、かつて城を守る重臣たちが居を構えた萩城三の丸、毛利屋敷跡に、北門屋敷はあります。
江戸時代からほとんど変わらない町割りと、維新前夜の面影が色濃く残る場所。武家屋敷の風格と凛とした空気に往時の息づかいが感じられます。
国の重要伝統的建造物群保存地区、そして世界遺産「萩城下町・旧上級武家地」であるこの場所に許された、唯一の旅館。
ようこそ北門屋敷へ。

世界遺産「萩城下町」の宿
萩城三の丸 北門屋敷
〒758－0057 山口県萩市堀内 210-12
TEL0838－22－7521　FAX0838－25－8144
http://www.hokumon.co.jp

社寺境内・ホテル清晃苑併設
レストラン しゃくなげ

日光東照宮のおひざ元
歴史とくつろぎの温泉宿
春茂登ホテルグループ

Fu-kun Lab OPEN
千姫物語敷地内
五感で感じる香りのお店
TEL (0288)25-7611

日光観光のお手配は
日光 おでかけサロン
TEL (0288)54-2700
栃木県知事登録旅行業第2-636

日光東照宮に一番近い宿
ホテル 清晃苑
TEL:0288-53-5555FAX:0288-53-5554

旬の懐石と1ランク上のおもてなし
日光 千姫物語
TEL:0288-54-1010/FAX:0288-54-0557

懐かしき大正ロマンの宿
ホテル 春茂登
TEL:0288-54-1133/FAX:0288-53-3509

仙台伊達公別邸跡の宿
日光 東観荘
TEL:0288-54-0611/FAX:0288-53-3914